オリジナルサイト仕様書

・タイトル

OPNET

・テーマ

自分のクローゼットをもったアパレル EC サイト

・ベネフィット

自身の購入履歴・お気に入りを一覧として表示させることで自身の持ち物と比較し て洋服を購入する事ができる。

購入のためだけの EC サイトではなく自分の洋服を確認できる。

・概要

xml に商品情報を記述し商品情報を表示させる 実際に購入は出来ない

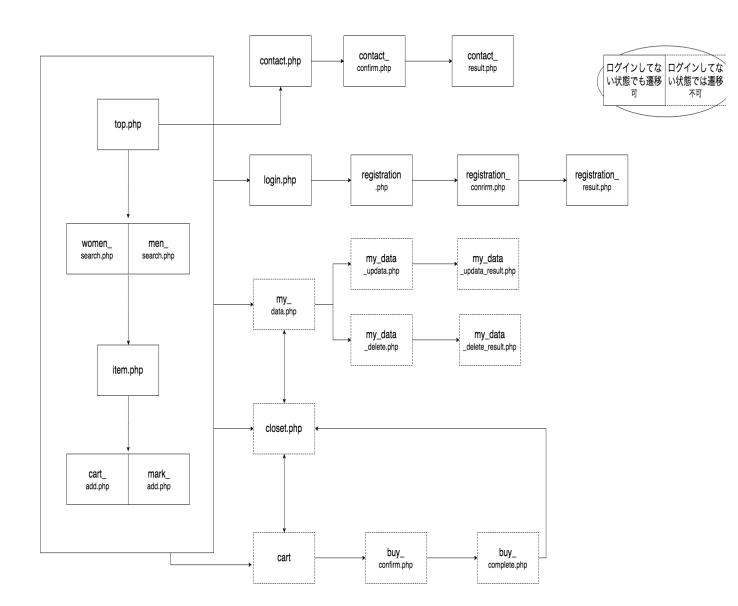
・サービス説明

今回のオリジナルサイトは一画面で現在検討中の商品と、過去の商品購入履歴を照らし合わせながら購入を進められる EC サイトです。

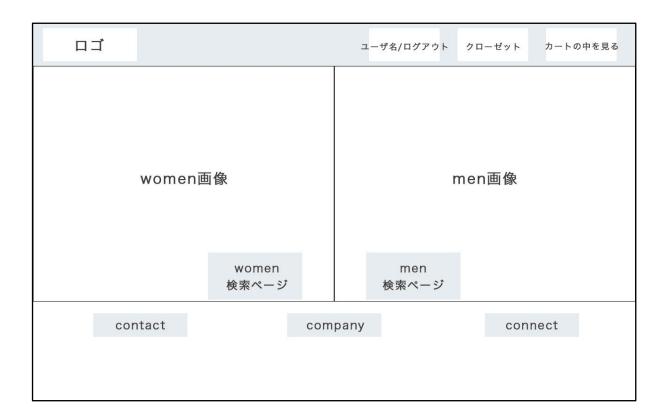
買い物をし、実際に家に帰ってみたら同じようなものを買っていた! なんてこともあるはずです。

そんな日常での無駄な出費を抑えながら、ショッピングを楽しめます。

画面遷移

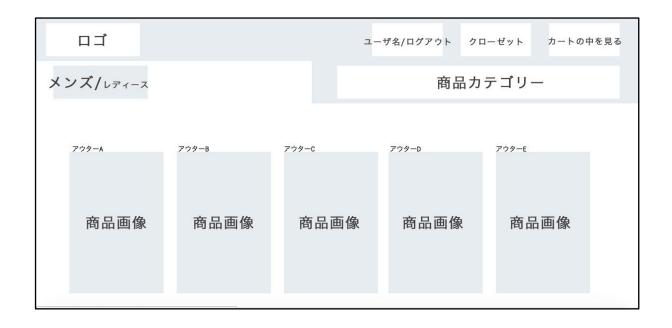


top.php



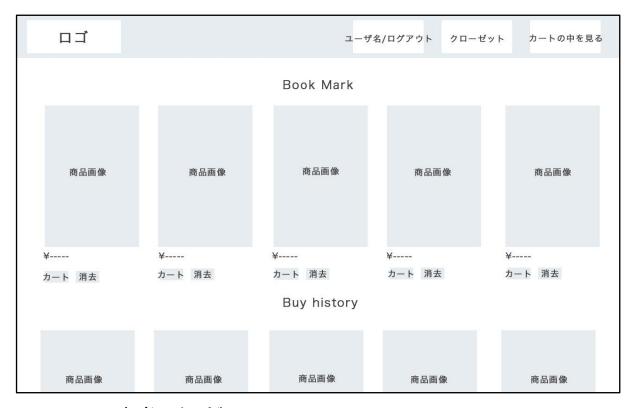
- トップページ。
- レディース検索ページ、メンズ検索ページに遷移できる。
- お問い合わせに遷移できる

women_search.php men_search.php



- 検索結果ページ
- レディース検索ページ、メンズ検索ページに遷移できる。
- topから検索により遷移できる。
- 商品カテゴリー検索により、検索結果を表示
- 画像と、その上に商品名、下に金額が載っている。クリックで item へ

closet.php



- 。 メインページ
- お気に入り、購入履歴を閲覧できる
- お気に入り商品をカートに追加、消去ができる

item.php

- 商品詳細ページ
- serch、cart、closet から遷移できる。商品コードを受け渡す
- 商品説明が表示される
- 「カートに追加する」、「お気に入り」ボタンがあり、クリックすると cart_add.php、mark_add.php に遷移する。

cart_add.php

- カートに追加ページ
- 商品の情報を受け取り、セッションに追加する
- 画面には「カートに追加しました」という文言が出てくる
- ログインしていない状態ならばログインページに遷移

mark_add.php

- お気に入り追加ページ
- 商品コードを受け取り、データベースに追加する
- 画面には「お気に入りに追加しました」という文言が出てくる。
- ログインしていない状態ならばログインページに遷移

login.php

- ログイン管理ページ
- どのページからも遷移できる。ログインしているかいないかで処理が分岐する
- ログインしていない状態(各ページの「ログイン」というリンクから)で遷移してきた場合は、ユーザー名とパスワードを入力するフォームが表示される。また、「新規会員登録」というリンクも表示される。
- ログインに成功すると、その情報をログイン状態を管理できるセッションに書き込み、そのまま直前まで閲覧していたページに遷移する
- ログインしている状態で(各ページの「ログアウト」という リンクから)遷移してきた場合は、ログアウト処理を行う(セッションの破棄、クッキーに保存されたセッション ID を破棄)
- ユーザーデータの削除フラグが 1 の場合は削除されたユー ザーとして処理されている

- registration.php
 - 新規会員登録ページ
 - login からのみ遷移
 - フォームがあり、入力するのは以下の要素 ユーザー名

パスワード

メールアドレス

郵便番号

住所

- registration_confirm
 - フォームで入力された文字や選択を表示し、「はい」で registration_complete「いいえ」で registration に値を保 持したまま(戻った時にフォーム入力済みになっている)遷移
 - もし不足していた場合はどの項目のデータが不足しているのかを表示。insert に値を保持したまま遷移するリンクを表示
- registration complete.php
 - プロフィール用の DB に値を挿入。この際、現在時(年日時分)を組み込み関数で取得し、追加。
 - 「以上の内容で登録しました。」と registration_confirm のようにフォームで入力された値を表示
 - 「トップページへ戻る」のリンクが、設置されている

cart.php

- 「カートに追加」でセッションに保存された登録情報が登録 古い順に表示される
- 商品の写真と名前(リンクつき)、金額を表示。
- 画面下部に全額の合計金額を表示する
- 「購入する」ボタンあり
- 各商品には「削除」のボタンあり。このリンクをクリックすることで、カートから商品を削除する
- 「カートを空にする」ボタンあり。このボタンをクリックすることでカートの中を一気に空にできる

• buy_confirm.php

- 購入確認ページ
- カートに追加順で商品の名前、金額が表示される
- 合計金額が表示され、その下に支払い方法を選択するラジオボタンがある。
- 「この金額で購入する」ボタンがある。

• buy_complete.php

- 購入完了ページ
- 購入データを保存
- 総購入金額を更新
- 「購入が完了しました」と表示

- my_data.php
 - 登録したユーザー情報が閲覧できる
 - 登録情報を更新する、削除するリンクあり
- my_update.php
 - フォームから入力するデータで既にあるデ.ータを更新できる
 - 画面構成は registration.php と同じ。フォーム内に直接記入された状態である。このフォームの内容を書き換えていくことでデータの更新ができる
 - 送信ボタン付き
- my_update_result.php
 - ID などを受け取り、DB を更新。
 - 「以上の内容で更新しました。」と、フォームで入力された値を表示
- my_delete.php
 - ユーザー削除確認ページ
 - 対象のレコードの全データを表示。「はい」と「いいえ」が 直リンクとして設置してある。「はい」なら my_delete_result.php へ、そうでないならトップページへ 遷移する

- my_delete_result.php
 - ここにアクセスした段階で、ID による削除が実行される(外部キー制約により直接 DELETE は出来ないので、削除フラグを 0 から 1 に変更する)
 - 「削除しました〉という一文が表示される

contact.php

- ○お問い合わせページ
- お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号、性別、お問い合わせ項目、お問い合わせ内容を入力する
- 「確認画面へ」ぼたんをクリックで contact_confirm.php に遷移できる
- contact_confirm.php
 - ○お問い合わせ確認ページ
 - お名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号、 性別、お問い合わせ項目、お問い合わせ内容の入力内容を表示
 - 「送信」ボタンがあり、クリックすると contact_result.php に遷移できる
- contact_result.php
 - お問い合わせ結果ページ
 - 入力内容をデータベースに追加

scriptUtil.php

- よく使うユーザー定義関数をまとめておく
- 例えば、トップへのリンクを挿入する処理をまとめておけば、 すべてのページでこのリンクを使用するときにそのユーザー 定義関数を挿入するだけでよくなる

• dbaccessUtil.php

○ データベースアクセス系のユーザー定義関数を格納する

• defineUtil.php

○ システム内で使われる具体的な定数(top ページなどの URL) などをまとめて定義しておく場所。

user_t

カラム名	userID	name	passwor d	mail	postal	addres s	total	newDate	delet eFlg
論理名	ユーザ ID	ユーザー 名	パスワード	メール アドレ ス	郵便番号	住所	総購 入金 額	登録日時	削除 フラ グ
データ型	int(主‡ 一,AUTO_ INCREMEN T)	varchar(255)	varchar(255)	varcha r(255)	int	text	int	Datetim e	int(初 期値 0)

buy_t

カラム	buyID	userID	itemCode	type	amout	buyDate
論理名	購入 ID	ユーザー ID	商品コード	発送方法	購入金額	購入日時
データ	int(主 ‡ —,AU TO_I NCRE MENT)	int(外部 キー)	varchar(255	int	int	Datetime

mark_t

カラム	userID	itemCode
論理名	ユーザーID	商品コード
データ 型	int(外部丰一)	varchar(255

contact_t

カラム名	userID	name	furiga na	email	tel	gende r	item	conten t	newDate
論理名	ユーザ ID	ユーザー 名	フリガ ナ	メールアドレス	電話番号	性別	お問い 合わせ 項目	お問い 合わせ 内容	登録日時
データ型	int(主丰 一,AUTO_ INCREMEN T)	varchar(255)	varcha r(255)	varchar(255)	int	text	varcha r(255)	varcha r(255)	Datetime